学校番号	309

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書	政治・経済（数研出版）						
副教材等	政治・経済　資料 2026（東京法令出版） スタディノート政治・経済（数研出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治経済に関するさまざまな課題について、一斉授業・グループワーク・レポート作成などの活動を通して学習をすすめます。ものごとを公正に判断する力や、問題を主体的に解決しようとする態度を身に付けてください。学習にあたっては、日頃からメディアで報道される時事的なテーマに興味を持ち、自分なりの意見や考えを持つ習慣を身に付けるよう心掛けてください。

2　学習の到達目標

国家・社会などのさまざまな公共的な空間において、社会に参画する自立した主体となるために私たちは、何を考え行動すればよいかを学ぶ。また政治・経済に関する諸課題の解決に向けて、宗教・思想、政治・経済および国際社会の分野についての基本的な知識を身に付ける。さらにそれらの知識を活用して、様々な価値観から公正にものごと判断する力や、他者との合意形成や社会参画にむけて議論する力を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに，諸資料から，社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して，現実社会に見られる複雑な課題を把握し，説明するとともに，身に付けた判断基準を根拠に構想する力や，構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に，国家及び社会の担い手として，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	現代の政治	第１節 民主政治の基本原理と展開 ①民主政治とその基本原理 ②民主政治の展開 ③政治体制の比較 第２節 日本国憲法と基本的人権 ①日本国憲法の基本的適正核 ②基本的人権の保障 ③日本国憲法の平和主義 第３節 日本の政治機構 ①国会のしくみと役割 ②内閣と行政機構 ③裁判所のしくみと人権保障 ④地方自治のしくみと住民生活 第４節 政治参加と民主政治の課題 ①戦後政治と政党 ②選挙制度のしくみ ③世論と情報化	a：民主政治の基本原理と展開，日本国憲法と基本的人権，日本の政治機構，政治参加と民主政治の課題についての知識を適切に理解できる。また、関連する情報を適切かつ効果的読読み取り、既習事項の知識と正確に合致させることができる。 b：民主政治の基本原理と展開，日本国憲法と基本的人権，日本の政治機構，政治参加と民主政治の課題について、多面的・多角的に考察・分析する能力を習得し、考察したことを効果的に表現・説明することができる。 c：民主政治の基本原理と展開，日本国憲法と基本的人権，日本の政治機構，政治参加と民主政治の課題についての学習を通して、疑問点や課題について粘り強く取り組む等、主体的に学習を進めることができる。	小テスト 定期考査	定期考査 ワーク シート	グループワーク 提出物

	第２章現代の経済	第１節 経済活動の意義と経済体制 ①資本主義経済の発展と変容 ②経済活動の主体	a：経済活動の意義と経済体制についての知識を適切に理解できる。また、関連する情報を適切かつ効果的読読み取り、既習事項の知識と正確に合致させることができる。 b：経済活動の意義と経済体制について、多面的・多角的に考察・分析する能力を習得し、考察したことを効果的に表現・説明することができる。 c：経済活動の意義と経済体制についての学習を通して、疑問点や課題について粘り強く取り組む等、主体的に学習を進めることができる。			
２学期	第２章現代の経済	第２節 現代経済のしくみ ①市場経済のしくみ ②国民所得と経済成長 ③金融のしくみ ④財政のしくみと租税 第３節 日本経済と福祉の向上 ①戦後日本経済のあゆみ ②中小企業と農業・食料 ③公害防止と環境保全 ④消費者問題と消費者保護 ⑤労使関係と労働市場 ⑥少子高齢社会と社会保障	a：現代経済のしくみ，日本経済と福祉の向上についての知識を適切に理解できる。また、関連する情報を適切かつ効果的読読み取り、既習事項の知識と正確に合致させることができる。 b：現代経済のしくみ，日本経済と福祉の向上について、多面的・多角的に考察・分析する能力を習得し、考察したことを効果的に表現・説明することができる。 c：現代経済のしくみ，日本経済と福祉の向上についての学習を通して、疑問点や課題について粘り強く取り組む等、主体的に学習を進めることができる。	小テスト 定期考査	定期考査 ワークシート	グループワーク 提出物

	第３章現代の国際社会	第１節 国際政治の動向 ①国際社会と国際法 ②国際社会の組織化 ③戦後国際政治の展開 第２節 国際経済の動向 ①貿易と国際収支 ②国際経済のしくみ ③地域主義の動き	a: 国際政治の動向，国際経済の動向についての知識を適切に理解できる。また、関連する情報を適切かつ効果的読読み取り、既習事項の知識と正確に合致させることができる。 b: 国際政治の動向，国際経済の動向上について、多面的・多角的に考察･分析する能力を習得し、考察したことを効果的に表現･説明することができる。 c: 国際政治の動向，国際経済の動向についての学習を通して、疑問点や課題について粘り強く取り組む等、主体的に学習を進めることができる。			
３学期	第３章現代の国際社会	第３節 国際社会の課題と日本の役割 ①核兵器の廃絶と軍縮問題 ②地域紛争と人種・民族問題 ③地球環境と資源・エネルギー問題 ④発展途上国の経済と経済協力 ⑤日本の国際的地位と役割	a: 国際社会の課題と日本の役割についての知識を適切に理解できる。また、関連する情報を適切かつ効果的読読み取り、既習事項の知識と正確に合致させることができる。 b: 国際社会の課題と日本の役割について、多面的･多角的に考察･分析する能力を習得し、考察したことを効果的に表現･説明することができる。 c: 国際社会の課題と日本の役割についての学習を通して、疑問点や課題について粘り強く取り組む等、主体的に学習を進めることができる。	小テスト	ワークシート	グループワーク提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度